

菩薩願行文

弟子某、謹しんで諸法の実相を觀ずるに、皆是れ如来真實の妙相にして、塵々刹々、一々不思議の光明にあらずということなし。これに因つて古え先徳は、鳥類畜類にいたるまで合掌礼拝の心を以て愛護し給えり。かるが故に、十二時中吾等が身命養護の飲食衣服は、素より高祖の暖皮肉にして権現慈悲の分身なれば、誰か敢て恭敬感謝せざらんや。無情の器物猶然り、況んや人にして愚かなる者には、ひとつとお憐愍眷念し、たとい悪讐怨敵となつてわれを罵り、われを苦しむることあるも、これは是れ菩薩権化の大慈悲にして、無量劫来、我見偏執によつて造りなせるわが身の罪業を消滅解脱せしめ給う方便なりと一心帰命、言辞を謙讓にして深く淨信をおこさば、一念頭上に蓮華を開き、一華一佛を現じ、随处に淨土を莊嚴し、如来の光明脚下に見徹せん。願わくはこの心を以て普く一切に及ぼし、われらと衆生と同じく種智を円かにせんことを。